

実践経営学会「半世紀」の重み

井形 浩治 (大阪経済大学)



昨年2017年は、本学会設立50年にあたります。その記念として、設立50周年記念講演会事業を、2017年11月4日に東洋学園大学フェニックスホールにて開催いたしました。

1部の記念講演は、「事業再生と実践経営」をテーマに、松尾均氏(はとバス前社長)にお願いしました。2部では、夏目重美先生(亜細亜大学)を司会に、平野文彦先生(元 日本大学)、中垣昇先生(名古屋経済大学)、横澤利昌先生(ハリウッド大学院大学)の本学会元会長によりパネルディスカッション(テーマ「実践経営50年の進化」)を行いました。3部では、井原久光先生(東洋学園大学)を司会に、支部報告「地域からの提言と展望」を各支部長から報告いただきました。いずれも、活発な質疑応答が行われ、盛会で終わることができました。開催開場の提供と運営に携わっていただきました井原先生、その準備に専念いただきました島田裕司先生(本郷経営労働研究所)、平野賢哉先生(東洋学園大学)、そして事務局の佐藤理恵子さんのご尽力に、この誌面を借り深く感謝申し上げます。

現在、もう一つの記念事業として、「記念事業誌」の発行を進めてございます。これは、井形の職務怠慢もあり、若干遅れつつございますが、寛容にご容赦賜りたいと願います。

さて、本学会は他の経営学系諸学会と比較して、ユニークな側面がございます。それは、大学等の研究機関に所属する会員のみでなく、実務界でご活躍されている会員の豊富さです。また、各会員の専門分野が、狭い経営系のみならず社会科学全般、人文・自然科学分野まで含むほど多岐にわたることです。

私は、本学会は「リベラル・アーツ(liberal arts)的特性を持った経営系学会」と考えます。日本では、「専門」に進む前段階としての「教養」としばしば捉えられていますが、それはギリシャ・ローマ時代の理念に源流を持ち、中世以降のヨーロッパの大学制度においては「人が持つ必要とされる技芸(実践的な知識・学問)の基本」と見なされるものです。

「専門」は重要です。しかし、「学問」という字と比べると、「門」の字の中に「口」がありません。これは単に印象ですが、専門的な深い知識があっても、それを相手に伝え教えるコミュニケーション性はそれほど伴わない、といった感がします。我々は、「実践」を標榜します。「狭くて深い」専門は、短絡的に実践的でないと必ずしも言い切れません。ですが、「世界一の大金持ち」といわれ、アマゾン(Amazon)を創業したジェフリー・ベゾス(Jeffrey P. Bezos, 1964年)の事例はいかがでしょうか。彼は、実業家だけでなく、作家、教育者としての側面も持ち合わせているようです。また、欧米では彼のような「マネジメント(論)」以外の幅広い教養・能力・資質を持つ経営者は決して少なくありません。

「実践」は、「リベラル・アーツ」という概念もしくは方法論に隣接もしくは近い位置にあり、その特性を我々が堅持することに大きな意義はないでしょうか。

以上

実践経営学会第61回大会のご案内

ご挨拶

第61回大会実行委員長 久富 健治
(神戸山手大学)



実践経営学会第61回大会は、2018年9月7日（金）～9日（日）の3日間、神戸山手大学（兵庫県神戸市中央区）において、下記の統一論題のもとに開催されます。

今回の全国大会は、神戸港開港150周年を経て、国際観光都市としてますます賑わいを見せる、神戸という大きな街にある小さな大学で開催させていただきます。神戸発の企業博物館等の見学会も予定しております。全国大会として恥じることなく開催できればと考えておりますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。また自由論題におきましても、多数のご報告をお待ちしております。

【統一論題】

「経営学の社会的拡散を実践経営の視点から考える

～ツーリズム・メガイメント・ソーシャルイノベーション～」

【解題】

わが国では現在、歴史、社会、文化等あらゆる人間的営みが可視化され、従来型の観光業を超越するような、多様で新たなツーリズムが生まれています。このような現代のツーリズムを解釈、あるいは実際に企画するうえで、企業中心の経営学では足りないかもしれません。

また、オリンピックやロックフェスティバルのようなメガイメントが都市や地域を特徴づけるようになっていきます。都市におけるハレや祝祭を演出するイベントの企画・運営といったものが実践経営の新しい領域になる可能性があります。

関西ではラグビーや生涯スポーツのメガイメントを控え、万国博覧会の誘致も行われています。ツーリズムやイベントを核としたソーシャルイノベーションが生み出されるかもしれません。

このような事態を目の当たりにすると、従来多くは企業組織の動態を扱っていた経営学の対象を社会的活動全般に拡散させ、理論の検証と深化を行うことが必要ではないかと思われれます。もちろん、このような新しい動向に関しては、本学会でも既に一部で研究の蓄積が見られますが、このあたりで統一論題として取り上げ、現実の課題に即した実践経営の見地から考えてみたいと思います。

【プログラムの概要】

* 詳細なプログラムは、7月下旬にお届けします。

9月7日（金） 午後：見学会
夕刻：理事会

9月8日（土） 午前：自由論題
午後：統一論題シンポジウム（基調講演・質疑）
夕刻：研究・情報交換会

9月9日（日） 午前：自由論題
午後：総会

【ホテルのご案内】

「実践経営学会第61回全国大会参加」とお伝えください。現在、神戸のホテル稼働率が高くなっています。お早目のご予約をお勧めします。

☆ホテル ザ・ビー神戸（JR・阪急・阪神の各三宮駅から徒歩3分、地下鉄三宮駅西3番出口から徒歩1分）

〒650-0011 神戸市中央区下山手通2-11-5 TEL：078-333-4880

URL：http://kobe.theb-hotels.com/

シングル1泊（9／7（金））¥10,500（税込・朝食付き）

シングル1泊（9／8（土））¥15,000（税込・朝食付き）

第61回全国大会 自由論題報告者の募集について

第61回全国大会における自由論題報告者を下記の要領で募集いたします。多くの会員の皆様のご応募をお待ちしております。

1. 応募資格

- (1) 会員であること（非会員との共同報告は認められておりませんので、応募に際しては入会手続きをお願いいたします）。
- (2) 2017年度までの年度会費に未納がないこと（共同報告者も同じ）。
- (3) 2018年度会費が、報告論文の提出期限2018年7月25日（水）までに納入されていること（共同報告者も同じ）。

※在外会員で報告をご希望の方は、本部事務局（jsam.headoffice@gmail.com）までお問い合わせください。

2. 応募方法

下記の項目を明記の上、下記の「実行委員会アドレス」へお申し込みください。メールの件名は「**JSAM 第61回大会自由論題報告応募**」としてください。共同報告の場合は、共同報告者の（1）、（2）、および主たる報告者の（5）についても明記してください。なお、報告日時のご希望はお受けできません。

- (1) 氏名（ふりがな）
- (2) 所属機関名・肩書（大学院生の場合は「課程」を明記）
- (3) 報告テーマ
- (4) 報告論文の概要（400字程度）およびキーワード（3～4語）
- (5) 連絡先（メールアドレス、郵便番号、住所、電話・FAX番号）

※Eメールを日常使用されない方は、期限までに大会実行委員会あてに郵送でご応募ください。

※自由論題報告は、9／8（土）午前、および9／9（日）午前を予定しています。

3. 応募期限 2018年6月25日（月）17：00必着

※これを受けて、常任理事会へのプログラム案の策定、その他の事務手続きに入りますので、期限厳守をお願いいたします。

4. 報告論文の提出期限 2018年7月25日（水）厳守

提出期限までに報告論文が届かない場合には、『実践経営学研究』への掲載ができなくなるとともに、大会プログラムに報告予定が記載されていても、大会当日の報告は認められないことになっております。

加えて、次年度における全国大会での報告についても制約を受けることになっておりますのでご注意ください。

5. 報告論文の提出

本学会の全国大会におきましては、慣例として、いわゆる「大会予稿集」「レジュメ集」などは作成しておりません。代わりにフルペーパーの公式論文集『実践経営学研究』を編集・刊行し、大会当日に配布することになっております。そのため、報告者は、作成した報告論文を、「実行委員会アドレス」まで、メール添付にてお送りください。メールの件名（表題）は「JSAM 第61回大会報告論文送付」としてご確認ください。

また、編集作業の都合上、報告論文は Word による作成をお願いいたします。校正の機会は設けておりません。

なお、Eメールを日常使用されない方は、報告論文を紙媒体、または CD-ROM 等の電子媒体に書き込み、期限までに大会事務局あてに郵送でご提出くださるようお願い申し上げます。

送付先（大会事務局）：〒657-0804 神戸市中央区中山手通6-5-2
神戸山手大学3号館 久富健治研究室内
実践経営学会第61回全国大会実行委員会 宛

6. 報告論文の執筆要領

- (1) A4版横書き（1ページは40字×40行）で8～10ページ（図表、注釈、参考文献等を含む）。
- (2) 1ページ目は、まず、下記の項目を明記し、□（罫線）で囲む（1行に入らない場合は、ポイントを下げ調整する）。

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| ①論題名（メインタイトル） | 和文14ポイント（明朝）、英文半角10.5ポイント（Century） |
| ②副題（サブタイトル） | 和文12ポイント（明朝）、英文半角10ポイント（Century） |
| ③所属・氏名 | 和文11ポイント（明朝）、英文半角10.5ポイント（Century） |

（例）

～のマネジメントに関する事例研究 A Case Study of Management of～ 近畿大学経済学部□□□□□田中□敬一 Kindai University□□□□Keiichi Tanaka

- (3) 最終ページの36行目以降は余白とする。
- (4) 本文構成は、「はじめに」、「章・節（1.、2.・・・）」、「項（(1)、(2)・・・）」等とする。
- (5) 本文中に、目次、構成等の表示はしない。
- (6) 本文は10.5ポイント（明朝）とし、引用部分の表示、図・表の出展表示、文末注釈については10ポイ

ント（明朝）とする。

(7) 表のタイトルは「表1・・・」とし、当該表の上部に表記する。

(8) 図のタイトルは「図1・・・」とし、当該図の下部に表記する。

※ [6. 報告論文の執筆要領] に関するお問い合わせは、本部事務局 (jsam.headoffice@gmail.com) までお願いします。

7. Cancellation Policy

大会での報告機会を確保したにもかかわらず、大会当日・当時刻に、相当の理由なく欠席されると、次年度における全国大会での報告ができなくなります。欠席せざるを得ない事情が発生しましたら、できる限りすみやかに実行委員会までご連絡ください。

8. その他

何かご不明な点がありましたら、「実行委員会アドレス」、もしくは本部事務局 (jsam.headoffice@gmail.com) までお問い合わせください。

第61回全国大会実行委員長 久富 健治（神戸山手大学）

大会実行委員会事務局長 副会長 田中 敬一（近畿大学）

実行委員会 E-mail : jsam61.kobeyamate@gmail.com

以上

実践経営学会第60回全国大会（宮崎大学）に参加して

土屋 博之（倉敷芸術科学大学 教授）

私は、2012年4月に入会させていただいて、全国大会への参加は6回目であるが、今回の大会は今まで
のなかでも「一、二を争う」ほど興味深い大会であった。

大会は、9月8日（金）～9月10日（日）の日程で開催されたが、私は都合上2日目（9月9日）から
参加させていただいた。

大会2日目は、早朝からのエクスカージョンとして、1686年に飢肥藩主であった【伊東祐実】が難工事
の中で造った【堀川運河】および油津港町周辺の見学である。飢肥杉の出荷港として栄え、昭和初期には
東洋一のマグロ漁港としてにぎわった当時を物語る赤レンガ倉庫や木造3階建ての商店が点在しており当
時の繁栄を物語っていた。また、沿岸漁業に使われていた【チョロ船】や堀川運河の上流には【夢見橋】
という樹齢120年の飢肥杉を使用し、約4000人のメッセージを書き込んだ部材を使って造られた美しい
“橋”も見学した。* 一帯は、1992年に映画【男はつらいよ】のロケ地にもなっている。

次は、伝統・伝承を重んじながら焼酎を造っている【京屋酒造】様に場所を移動し、1834年に創業した
と言い伝えられている焼酎蔵を見学した。【京屋酒造】様の焼酎造りとは、自然の恵みを自然の力で人々
の生活に活力与えるものを造ることであり、原料にこだわり、大甕にて少量ずつ丹精込めて造っている
ことが確認できる焼酎蔵を見学した。その後の試飲では、多種の焼酎などを堪能している参加メンバーを見
学できたことも楽しい思い出である。

そして、場所をさらに移動して城下町として栄えた飢肥で歴史を感じ、伝統の味を楽しんだ。この飢肥
には歴史を伝え・感じる建物が残り、情緒ある佇まいを見せている。

それらを見学する中で、日南市長自らが案内役として見どころの説明をしていただいたことは地元への
愛着を感じるとも感動した。見学した建物は、飢肥城跡の大手門や歴史資料館、武家屋敷、古民家リノ
ベーションにおける旅館や誘致したIT企業のオフィス、そして最後に地元が生み育て、日本の世界的地
位の確立を果たすことに最大の貢献をした【小村寿太郎】の生涯や功績を展示している【国際交流セン
ター 小村記念館】である。そこの多目的会議室において、日南市長から日南市の強みとしての古民家の
利活用をほぼ民間資金で行っていること、それらを利活用できるIT企業の誘致、伝統家屋である「武家
屋敷」を1棟まるごと貸し切りできる【季楽 旅館】などを、『創客創人』を掲げて内需・外需を掘り起こ
している市政運営の説明をいただいた。昼食は、伝統的な名物である“かつお炙り重”に舌鼓を打った。

大会2日目の午後は、場所を油津商店街内にある【油津 Yotten】において、実践経営学会会長・井形
浩治先生のご挨拶、大会実行委員長の宮崎大学地域資源創成学部の根岸裕孝先生からの歓迎の辞を含む開
会式に始まり、次に統一論題である『地方創生と実践経営～最前線の現場から学ぶ地域・企業のマネジメ
ント力～』をテーマとしたシンポジウム、パネルディスカッションと続いた。

シンポジウムでは、日南市長・崎田恭平様を筆頭に、地元で起業している経営者や宮崎大学の教員など、
多彩な発表者のテーマに基づく発表を拝聴した。資に値する言葉を例にあげると、『日本一組みやすい自
治体への挑戦』、『ビッグ・ピクチャー』、『実現したいことを可視化するチカラ』、『Realistic』などである。

その後、シンポジウムの発表者に学会長・日南市での起業経営者・宮崎大学の教員の3名が加わり『地方創生とマネジメント』をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、その中でも『課題と向き合って、早く解決する』ことが、重要であるとの再認識を得た。その後、研究・情報交換会が盛大に行われた。

大会3日目（最終日）は、場所を宮崎大学 地域資源創成学部に移し、自由論題報告として32本の発表が行われた。私は5本しか拝聴できなかったが、どの発表も今後の研究に指針を与えていただいた有意義な発表であった。

まだまだ、書き足りないが、紙幅の制限もあるため、本学会のさらなる発展と会員各位のご健康とご研鑽を祈りながら、本稿を終える。

（本稿は本学会本部事務局から、当日に依頼を受けて執筆させていただいたものである）

会員の異動（入会・退会）2017.10.1～2018.3.31

入会会員 7名（敬称略）

お名前	ご所属	担当支部	入会承認日
田島 良輝	大阪経済大学 人間科学部 准教授	関西	2017/10/19
宮原 秀明	大阪学院大学	関西	2017/12/15
片山 郁夫	法政大学大学院公共政策研究サステイナビリティ学専攻	関東・甲信越	2017/12/26
坂本 桂二	長良川鉄道株式会社	中部	2018/01/30
橋谷 聡一	大阪経済大学 経営学部 准教授	関西	2018/02/16
黄 敬微	県立広島大学大学院総合学術研究科 修士課程情報マネジメント専攻 院生	中国・四国	2018/03/04
趙 静	県立広島大学大学院総合学術研究科 修士課程情報マネジメント専攻 院生	中国・四国	2018/03/04

退会者 12名（敬称略）

阿比留政則	飯塚 康之	植竹由美子	上山 理佳	徐 恩之
鈴木 和也	平田 光子	村田 直樹	村田美由紀	村山 元英
矢野 大成	山崎 隆由			

各地での支部活動

本学会では、年次の全国大会開催のほかに、これを補うことを目的として、全国の8都市に支部が置かれており、適宜（年に2回程度）、**実地研究、地域研究、研究発表、会員相互の交流・親睦等**の活動が行われています。

会員はすべて住居地あるいは勤務地等によって、8支部のいずれかに所属することになっており、各支部長より、支部活動の予定が、eメール、又は郵便等の方法によって伝えられます。

会員は、配属された支部会への参加が義務づけられるものでもなく、原則として、**全国のどこの支部活動へも参加ができる**ことになっています。ただし、プログラムの内容や準備の都合上、参加できないこともあります。またその時の天候、交通、その他の事情により、活動が中止または順延されることがありますので、不意の参加は避けてください。あらかじめ当該支部長にメールアドレス等により、事情をお問い合わせください。

なお、各地の支部活動は、実践経営学会のホームページにて、すべての会員に対して周知されています。

なお、支部会における研究報告は、1年に1回、学会本部から刊行される機関誌『実践経営』への投稿資格の一つとなることが定められています。積極的な参加をお勧めします。

在外会員の方は、本部事務局 jsam.headoffice@gmail.com へお問い合わせください。各地の支部の概要は以下の通りです。

北海道支部

支部長 菊池 真一（北海商科大学）
連絡先 TEL&FAX：011-577-9278
E-Mail：jsam.hokkaido@gmail.com

東北支部

支部長 三森 敏正（石巻専修大学）
事務局長 浅野 浩子（仙台白百合女子大学）
支部顧問 吉田 信一（富士大学）
TEL：0198-23-6221 Fax：0198-23-5818
E-Mail：jsam.tohoku@gmail.com

関東支部

支部長 夏目 重美（亜細亜大学）
連絡先 E-Mail：jsam.kanto@gmail.com

北陸支部

支部長 田中 晴人（金沢学院大学）
事務局長 谷畠 範恭（金沢星稜大学女子短期大学部）
支部顧問 水谷内徹也（富山大学）
連絡先 E-Mail：jsam.hokuriku@gmail.com

中部支部

支部長 大島 俊一（中部大学経営情報学部）
事務局長 向日 恒喜（中京大学経営学部）
連絡先 〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学
TEL：052-835-7111（代）
E-Mail：jsam.chubu@gmail.com

関西支部

支部長 田中 敬一（近畿大学）
事務局長 稲田 賢次（大阪学院大学）
連絡先 E-Mail：jsam.kansai@gmail.com

中国・四国支部

支部長 小原久美子（県立広島大学経営情報学部）
連絡先 TEL & FAX：082-251-9743
（小原研究室直通）
E-Mail：jsam.chuugoku.shikoku@gmail.com

九州支部

支部長 伊佐 淳（久留米大学経済学部）
事務局長 増山 正紀（増山人事労務センター）
連絡先 E-Mail：jsam.kyusyu@gmail.com

支部会からのご案内

■ 関西支部会 第71回 実践経営学会 関西支部会のご案内

実践経営学会 関西支部会 支部長 田中 敬一
事務局長 稲田 賢次

第71回実践経営学会 関西支部会を下記の要領で開催する予定ですので、ご案内申し上げます。当日の発表希望者を募集しております。発表をご希望される方は、下記連絡先までお知らせください。

記

■日 時：2018（平成30）年6月16日（土）13時00分～17時30分

■場 所：流通科学大学 5棟 5212室

■参加費：会員 1,000円（非会員 1,500円、院生【学】無料）

■懇親会費：懇親会費：4,000円

※事前申込制です。下記宛先までメールお申し込みください。

■申込締切：6月9日（土）

■連絡先：濱田 恵三 先生 宛

■ご注意：事前申込をせず当日申込をされてもお断りする場合があります。また、当日のキャンセルは実費ご負担となります。ご了承ください。

・発表をご希望される場合は、以下宛先まで所属、氏名、発表テーマをメールでお知らせください。

・発表者枠には限りがありますので、申込者多数の場合や連続発表の場合は、事務局にて調整させていただきますので、何卒ご容赦願います。

■連絡先（事務局）

メール：inadak@ogu.ac.jp 大阪学院大学経営学部 稲田 賢次 宛

電話：06-6381-8434（代表）

以上

■ 関東支部会 実践経営学会関東支部会開催のお知らせ

関東支部長 夏目 重美（亜細亜大学）
jsam.kanto@gmail.com

下記の通り、関東支部会を開催いたします。つきましては、当日の研究報告を募集致します。学会費納入済みの会員の方は、全国どの地域からでも応募できます。

プログラムの詳細は、後日、HP上でご案内いたします。

ご参加いただける場合には、報告の有無に係わらず、支部会、情報交換会の別を明記してお知らせください。

記

■日 時：平成30年7月14日（土） 受付 12：30 開会 13：00

第一部（13時00分～15時00分）研究報告4名予定

（報告20分、コメント・質疑10分を予定）

テーマ申込締切：平成30年6月30日（土）厳守

申込方法：氏名、所属、報告テーマを明記して、下記、事務局までお申し込み下さい。

第二部（15時00分～16時30分）—講演会—

東京都女性若者シニア創業アドバイザー

株式会社マネジメントブレーション代表取締役社長 静間 俊和 氏

—地域で取り組む創業支援—

■場 所：亜細亜大学5号館 525教室

お問い合わせ、お申込は jsam.kanto@gmail.com

（支部会参加費：500円、情報交換会参加費：2,000円）

■ 東北支部会 実践経営学会・東北支部会（第22回）のご案内

実践経営学会 支部長 三森 敏正

拝啓 時下、ますますご清祥の事とお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、実践経営学会・東北支部会（第22回）のご案内をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。ご多用の時期と拝察致しますが、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

つきましては、当日の支部会における発表者を募集致します。奮ってご応募をいただきたくお願い致します。

詳細が決まり次第、またご連絡させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

まずは、支部会開催のご案内まで。

敬具

記

実践経営学会・東北支部会（第22回）

■日 時：平成30年8月4日（土）

報告会 13：00～17：00 懇親会 未定

■場 所：ハーネル仙台 かえでB・C <http://www.heanel.jp>

■住 所：〒980-0014 仙台市青葉区本町2-12-7 Tel 022(222)1121

■会 費：500円

■設 備 等：PC・プロジェクタ等必要な方は各自ご用意ください。

■申込締切：7月20日（金）

■申し込み：ご報告を希望される方につきましては、氏名、所属、報告テーマを明記して、仙台白百合女子大学・浅野までご一報下さい。

なお、ご参加の有無もご連絡いただきたくお願いいたします。

ご不明の点がございましたら、以下のところまでお願い申し上げます。

■支部事務局：仙台白百合女子大学・浅野浩子

〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1

電話：022-372-3254（大学代表番号）FAX：022-375-4343（代表）

メールアドレス：asano@senndai-shirayuri.ac.jp

以上

実践経営学会事務局からのご連絡

■ 住所・勤務先などの変更届のお願い

住所や勤務先、メールアドレス等が変更となった会員の方は、
jsam.headoffice2@gmail.com（会員情報管理専用メールアドレス）までご連絡ください。

■ 第51期 会費納入のご案内

第51期の会費納入のご案内が皆様のお手元に届いていると思いますが、万が一お手元に届いていないという方がいらっしゃいましたら下記メールアドレスまでご一報ください。

全国大会および各地域支部会における報告資格は、「年会費を納入済みの会員」となっております。ご留意ください。

お問い合わせは、jsam.headoffice2@gmail.com まで。

■ 各支部からのご連絡などは、学会ホームページをご覧ください

実践経営学会ホームページ（<http://www.jsam.org/>）では最新情報を随時掲載しております。各支部からの情報は、ホームページをご活用ください。

■ 全国大会の詳細について

更に詳しい内容は本会報次号でお知らせいたします。

実践経営学会

JAPAN SOCIETY FOR APPLIED MANAGEMENT

発行日：2018年6月11日

発行所：実践経営学会

発行者：会長 井形 浩治

〔本部〕 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学経営学部 井形研究室内

〔本部事務局〕 〒113-0033 東京都文京本郷1-26-3 東洋学園大学現代経営学部 平野賢哉研究室内

制 作：(株) マインド